

“やさしい社会”への処方箋

～ 長崎の“挑戦”と“躓き”から見えてきたもの～

当センターでは罪を犯した障がい者・高齢者の支援として、主に「出口支援」(矯正施設入所中から地域での生活までを支援する業務)を行っています。今回、「入り口支援」(警察に逮捕され、矯正施設に行く前の段階)について考えていきたいと思い、この研修を企画しました。

逮捕や勾留などの早い段階から福祉支援が必要とされている人をサポートしていき、どのような支援が求められるのかを考え、環境を整えていく支援方法が入り口支援には求められます。

今回、長崎県地域生活定着支援センター所長として、先駆的に入り口支援に取り組まれている伊豆丸氏を講師にお迎えします。「入り口支援とは…どういう流れなのか?どう支援していくのか?」等、事例を含めお話していただきます。触法障がい者の理解を深め、私たちができる支援について考える時間にしたいと思っています。みなさまのご参加をお待ちしております。

★日時:平成30年12月14日(金)

14:00～16:00 (開場 13:30)

★場所:香川県立文書館 2階 視聴覚ホール

(761-0301 高松市林町2217-19)

★対象:テーマに関心のある方は、どなたでも参加いただけます。

★定員:180名 ※事前申し込みをお願いします。申し込み方法は裏面参照。

参加費

無料

【講師】



伊豆丸 剛史 氏

- ・長崎県地域生活定着支援センター 所長
- ・(一社)全国地域定着支援センター協議会 事務局長

【講師プロフィール】

大学卒業後、アート活動(オブジェ制作)を行う。その後、ヒッチハイクの一人旅を機に、「眼に見えるもの(オブジェ)」を築くよりも「眼には見えないもの(絆)」を築いていくことの美しさに惹かれ、福祉の道を志す。以後、福岡県において障害者福祉及び高齢者福祉に従事。

平成21年1月、「社会福祉法人 南港愛隣会」入職。同月より全国に先駆け開設された「長崎県地域生活定着支援センター」において、罪を犯した障害者・高齢者等に対する支援に従事。

主催:香川県地域生活定着センター

TEL:087-813-2250 FAX:087-889-0797